

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	社会学B		
英文授業科目名	Sociology B		
開講年度	2007年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	船戸 修一		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>社会学は、私たちが生きる「現代社会」を分析していくうえで、有効な考え方や見方を提示してくれます。社会学Bでは、「現代社会」の諸問題、とりわけ「食＝農」をとりまく諸問題をとりあげます。そもそも「食（食料や食品）」は、私たち生命の源であり、暮らしの根幹です。また「食」は「農（農業や農村）」の在り方と結びつき、地域の多様な文化を形成してきました。授業では、このように私たちの生活そのものである「食＝農」をとりまく諸問題をとりあげ、それを工業化・効率化を追求してきた「近代の原理」とのかかわりで捉え直していきます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
ありません。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
ありません。

【教科書等】
<p>特に指定しません。授業では、毎回、プリントを配布します。再配布はしないのでプリントは各自で整理しておいてください。</p>

【授業内容とその進め方】

具体的には、以下のようなテーマをとりあげる予定です。詳細は開講当日に説明します。

- (1) 現代社会を考える～「食＝農」の社会学のススメ
- (2) 世界市場システム（WTO体制）と日本の食料自給率
- (3) 肉食文化と狂牛病（BSE）
- (4) いのちの教育
- (5) 食のマクドナルド化とスローフード
- (6) エビとアジアの環境破壊
- (7) 近代農業（農薬や化学肥料）の功罪
- (8) 食の安全・安心と有機農業運動
- (9) 農業・農村の多面的（公益的）機能
- (10) 定年帰農と市民農園
- (11) 生ゴミのリサイクルと自然エネルギー
- (12) 地産地消とフードマイレージ

授業で取り上げるテーマに関するプリント資料を配付し、それを使いながら講義形式で授業を進めます。講義では、映画・ドキュメンタリー・マンガなどの視聴覚教材をなるべく使って、分かりやすい授業につとめたいと思います。さらに毎回ではありませんが、宿題として「小レポート」も課すときもあります。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末に提出するレポート（400字×10枚以上）を主な成績評価の対象にします。また授業後の宿題として課する「小レポート」も成績評価に含めます。なお受講者の人数次第では、評価方法を変更することがあります。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問のある方は授業後に相談してください。

【学生へのメッセージ】

現在、日本の「食（食料や食品）」ならびに「農（農業や農村）」は切迫した問題を抱えています。こうした問題を理解することによって「食」や「農」に対する皆さんの考え方や自分たちのライフスタイルを問い直してみましょ。

【その他】